

令和 6 年度 千葉県内介護サービス事業所の 業務改善に関するアンケート調査 結果

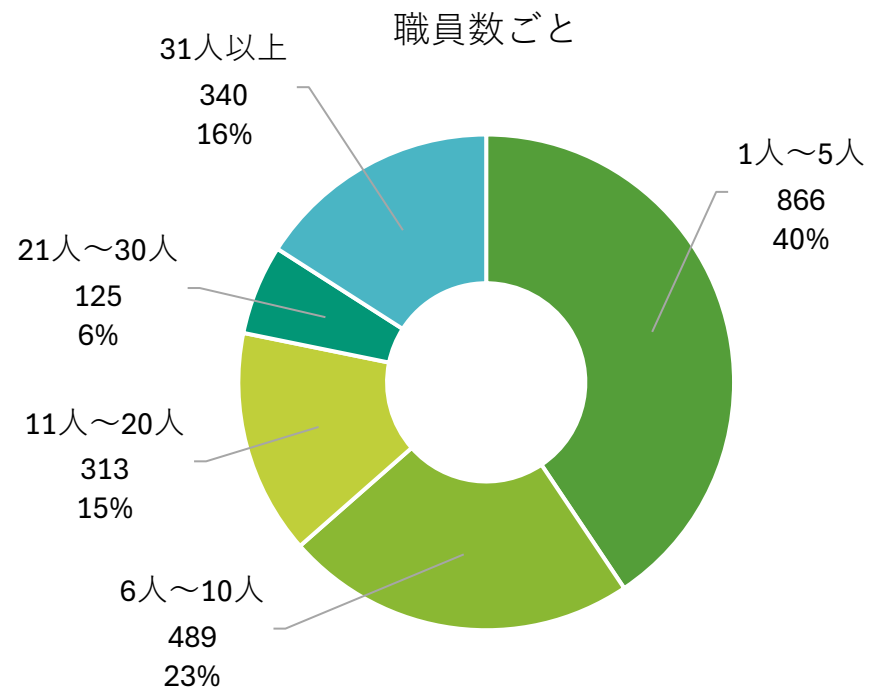
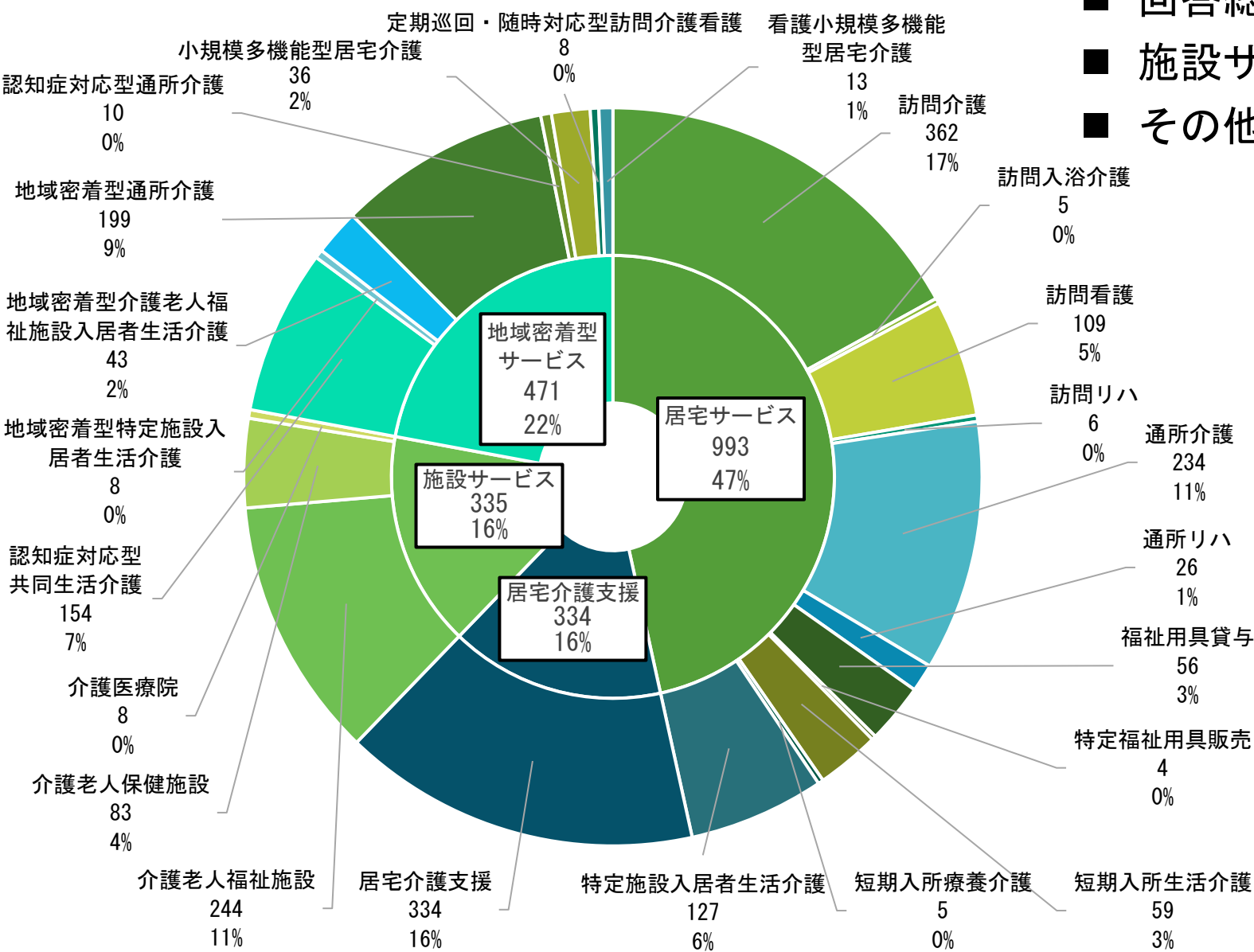
千葉県健康福祉部
高齢者福祉課

アンケート概要

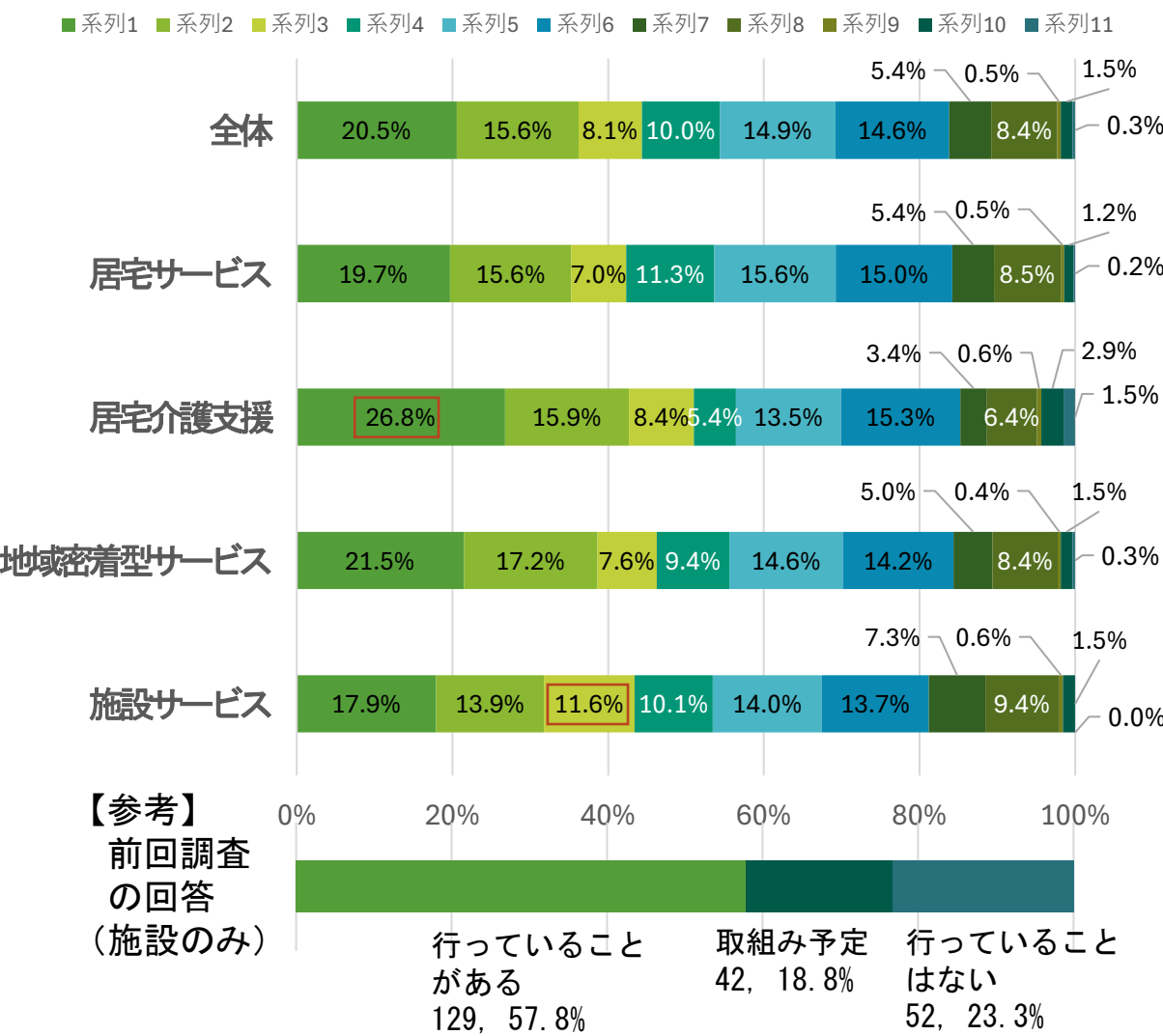
対象	県内の介護サービス事業所
回答内容	介護現場の業務改善を図るため取り組んでいること、取り組んでみたいこと等について、選択式で回答
回答方法	Web（ちば電子申請サービス）
実施期間	令和7年2月18日～3月21日
実施方法	電子メールにより回答を依頼 （県からの送付先数：約4,000事業所） ※その他に各市町村、関係団体にも周知を依頼
その他	・令和5年度末には施設サービス事業所に対しアンケートを実施 ・回答していく中で、業務改善に関して気になることがあれば千葉県介護業務効率アップセンターに相談するよう案内

サービス種別ごとの回答数・割合

- 回答総数：2,133事業所
- 施設サービスの回答率：50%程度
- その他のサービスの回答率：20～25%程度



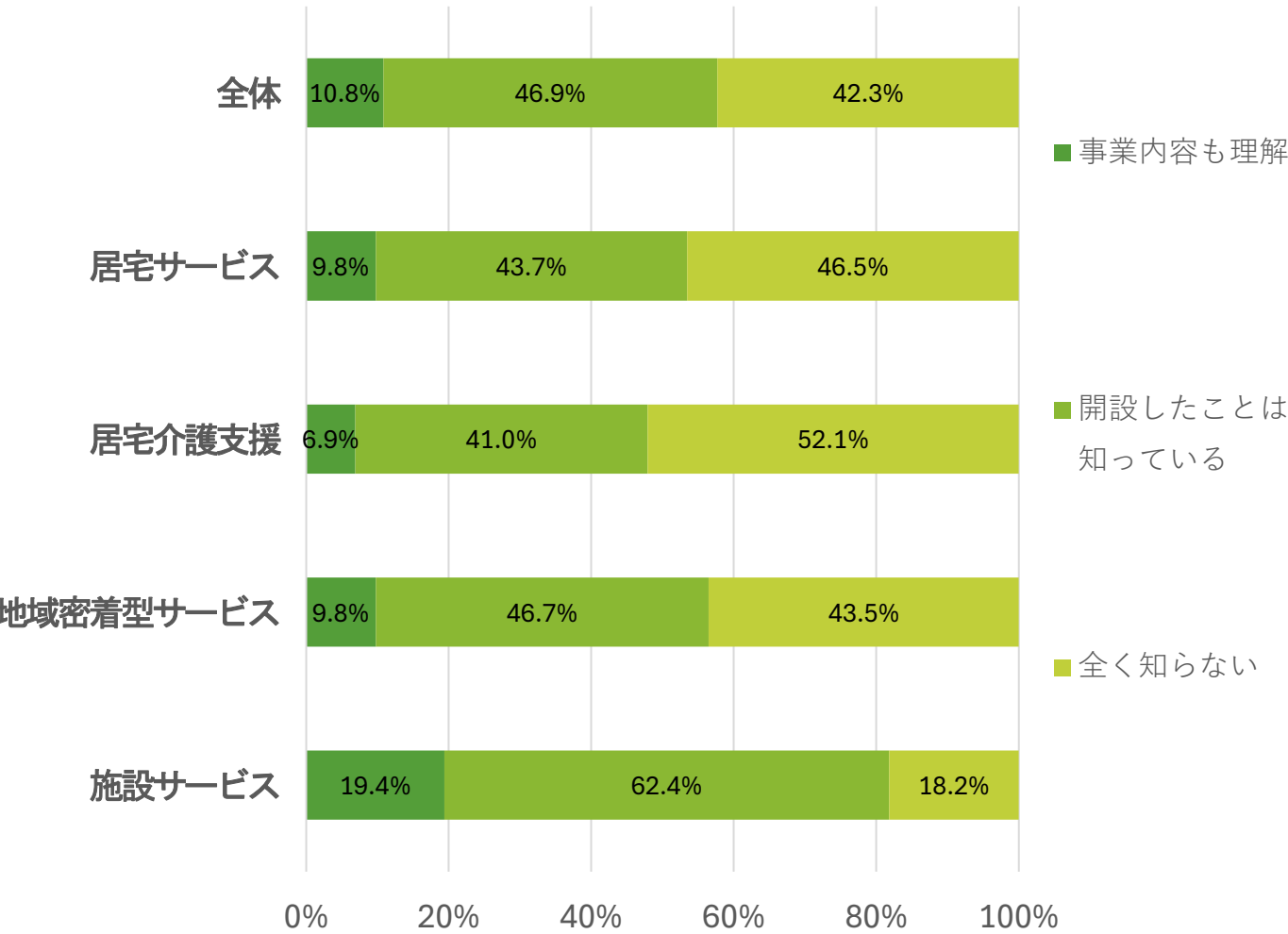
現在、介護現場の業務改善を図るため実際に行っていることはありますか。（複数選択可）



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	職 場 環 境 の 整 備 （ 整 理 整 頓 等 ）	分 担 と 役 割 の 明 確 化 （ 業 務 全 体 の 流 れ の 再 構 築 ）	業 務 の 明 確 化 （ テ ク ノ ロ ジ ー の 活 用 ）	手 順 書 の 作 成	記 録 ・ 報 告 様 式 の 工 夫	情 報 共 有 の 工 夫	〇 T の 仕 組 み づ く り	理 念 ・ 行 動 指 針 の 徹 底	そ の 他	検 討 中	行 っ て い る こ と は な い
全体	1,623	1,236	643	790	1,174	1,156	427	666	38	119	27
居宅サービス	761	601	272	437	603	579	207	330	18	46	8
居宅介護支援	234	139	73	47	118	134	30	56	5	25	13
地域密着型サービス	374	299	133	163	254	248	87	146	7	26	6
施設サービス	254	197	165	143	199	195	103	134	8	22	0

■ 「業務改善の7つの打ち手」に取り組んでいるか聞いたところ、ほとんどの事業所が何か行っていた。3

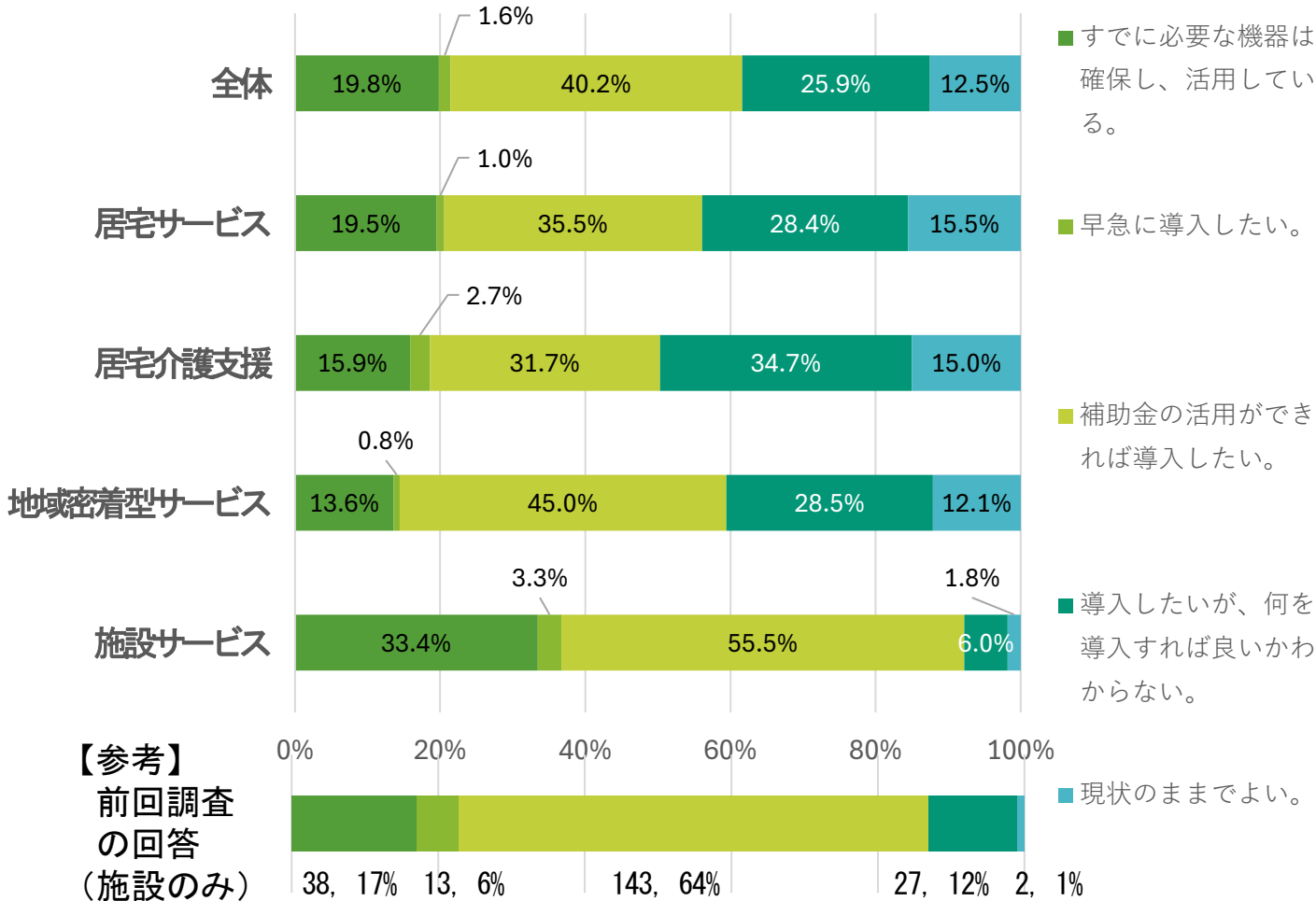
介護事業者向けに千葉県介護業務効率アップセンターが開設されたことを知っていますか。



	どういう事業を行っているか、ある程度理解している	開設したことは知っている	全く知らない
全体	231	1,000	902
居宅サービス	97	434	462
居宅介護支援	23	137	174
地域密着型サービス	46	220	205
施設サービス	65	209	61

- 効率アップセンターを知らない事業所の割合は全体で 4 割程度だった。
- サービス種別によって認知度に差が見られた。

業務改善を目的として介護ロボットやICT機器を導入したいですか。



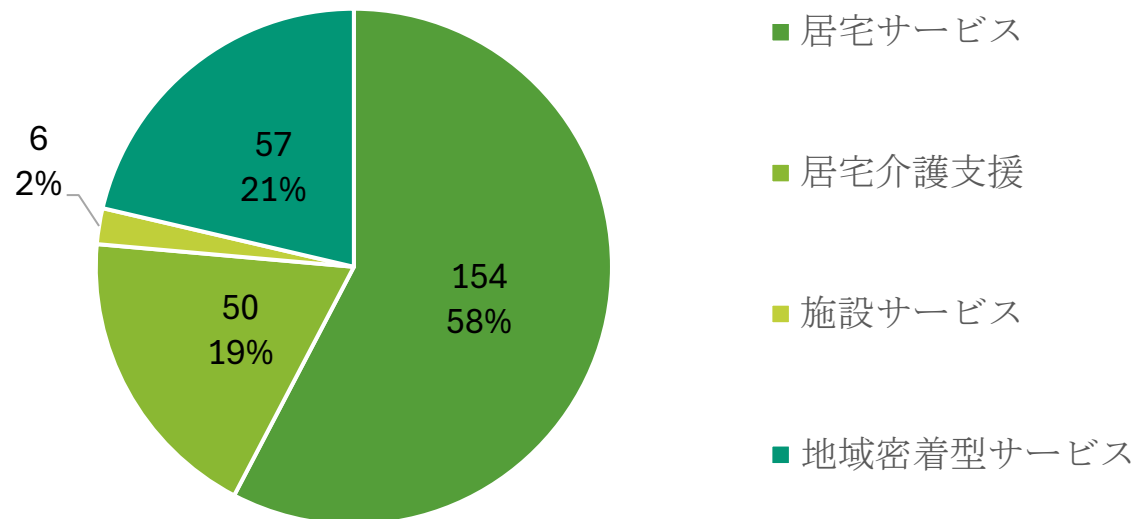
	すでに必要な機器は確保し、活用している	早急に導入したい	補助金の活用ができれば導入したい	導入したいが、何を導入すれば良いかわからない	現状のままでよい
全体	423	34	857	552	267
居宅サービス	194	10	353	282	154
居宅介護支援	53	9	106	116	50
地域密着型サービス	64	4	212	134	57
施設サービス	112	11	186	20	6

- 介護テクノロジー機器を確保済又は導入検討中である事業所は全体で9割程度だった。
- 施設サービスで導入が進んでいる一方で、それ以外の種別では何を導入すれば分からないという回答も多かった。

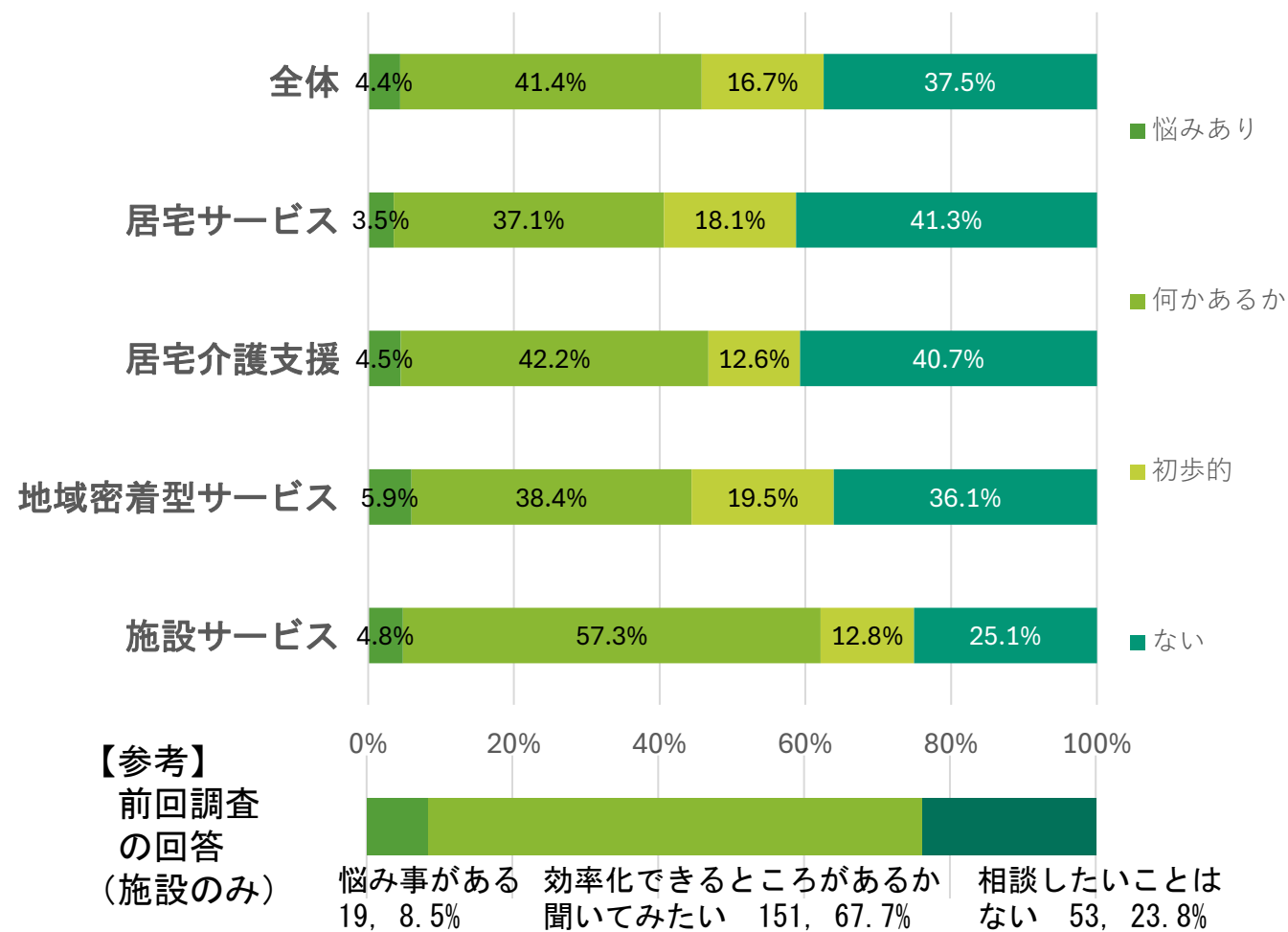
業務改善を目的として介護ロボットやICT機器を導入したいですか。（現状のままでよい理由）

- 現状のままでよいと回答した事業所数：267（12.5%）
- 多かった回答①：必要性を感じない・業務にそぐわない
（例）小規模な事業所のため 訪問介護（看護）であり持参できない など
- 多かった回答②：予算の制約・費用対効果
（例）補助金が出ても導入費用が高額 費用対効果が不明確 など
- その他：高齢の職員が多く操作が難しい 本社・本部の判断に従う 良く分からない など

サービス種別の割合



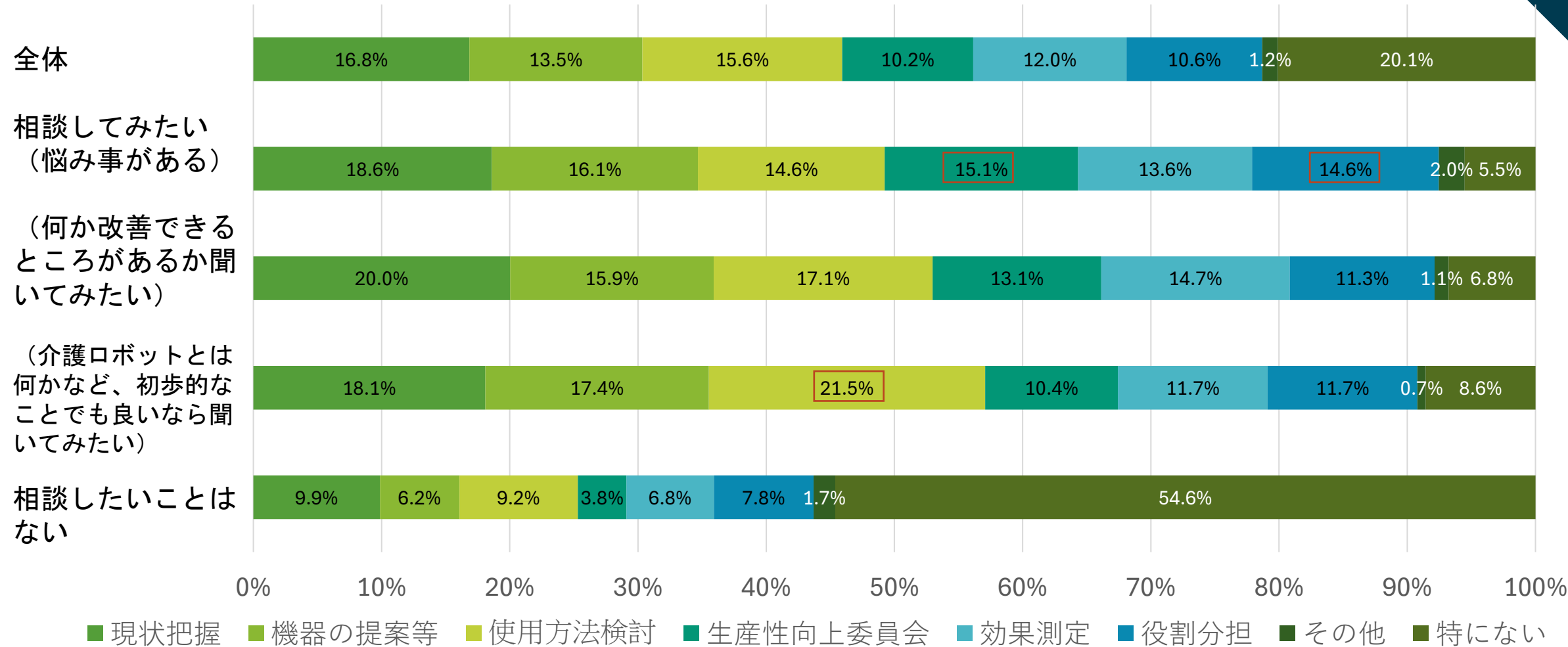
業務改善を目的として、介護サービスや事務作業、職場環境の改善について専門家に相談してみたいですか。



	相談してみたい			相談したいことはない
	(現在悩み事がある)	(何か改善できるところがあるか聞いてみたい)	(介護ロボットとは何かなど、初歩的なことでも良いなら聞いてみたい)	
全体	94	882	357	800
居宅サービス	35	368	180	410
居宅介護支援	15	141	42	136
地域密着型サービス	28	181	92	170
施設サービス	16	192	43	84

- 相談してみたいことがある事業所は全体で6割程度、ない事業所は4割程度だった。
- 「何か改善できるところがあるか聞いてみたい」、「相談したいことはない」という順が多かった。

業務改善にあたり研修や伴走支援を行ってほしいことはありますか。（複数選択可）

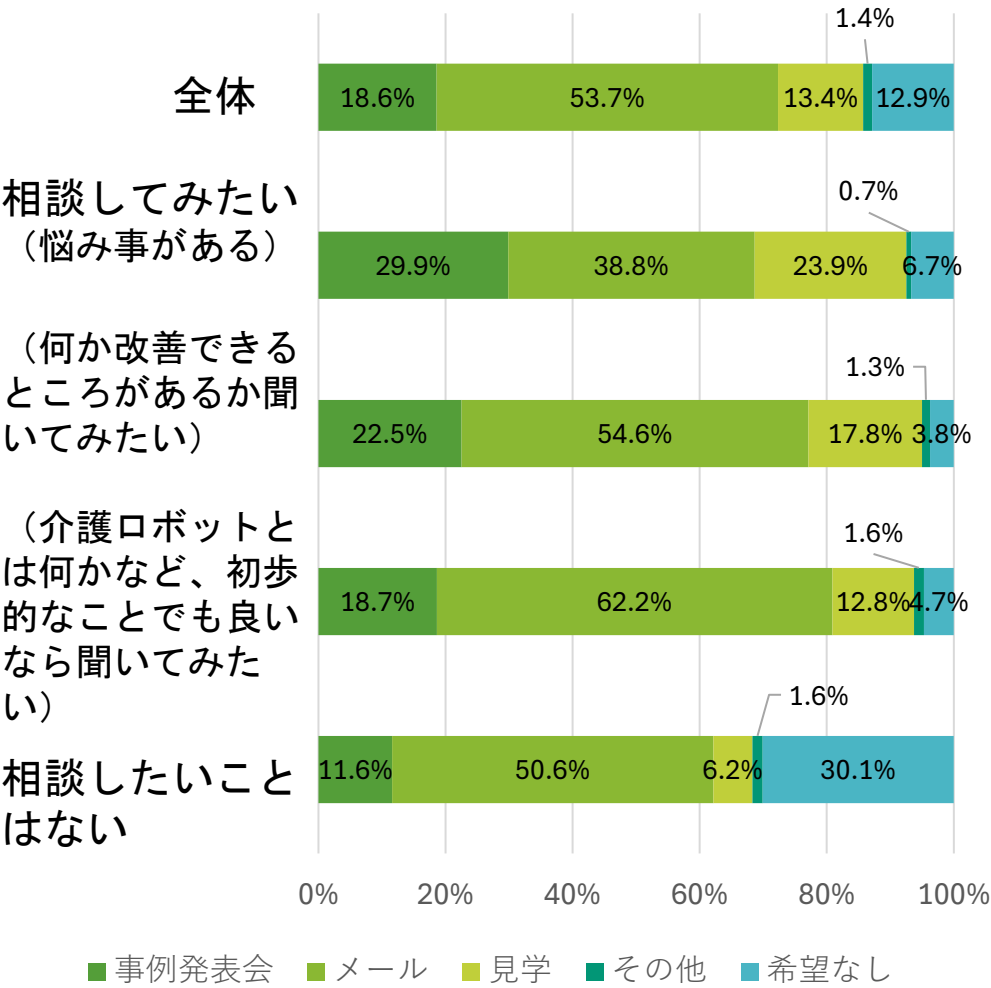


- 悩み事を相談してみたい事業所は、研修・伴走支援で生産性向上委員会や役割分担を選んだ割合が比較的多かった。
- 初歩的なことでもという事業所は機器導入後の効率的な使用を選んだ割合が最も多かった。

業務改善にあたり研修や伴走支援を行ってほしいことはありますか。（複数選択可）

	事業所での介護業務に係る現状把握の仕方について	試用貸出等における機器の提案および事業所と機器の適応性の判断方法について	機器導入後の効率的な使用方法の検討について	生産性向上のための委員会の立ち上げや運営について	業務改善の取組の効果の調査方法について	職員間の適切な役割分担(例：介護助手の活用等)について	その他	特にない
全体	587	471	543	356	417	369	43	700
相談して みたい	37	32	29	30	27	29	4	11
（現在悩み事がある）								
（何か改善できるところがあるか聞いてみたい）	346	274	295	227	254	195	19	117
（介護ロボットとは何かなど、初歩的なことでも良いなら聞いてみたい）	110	106	131	63	71	71	4	52
相談したいことはない	94	59	88	36	65	74	16	520

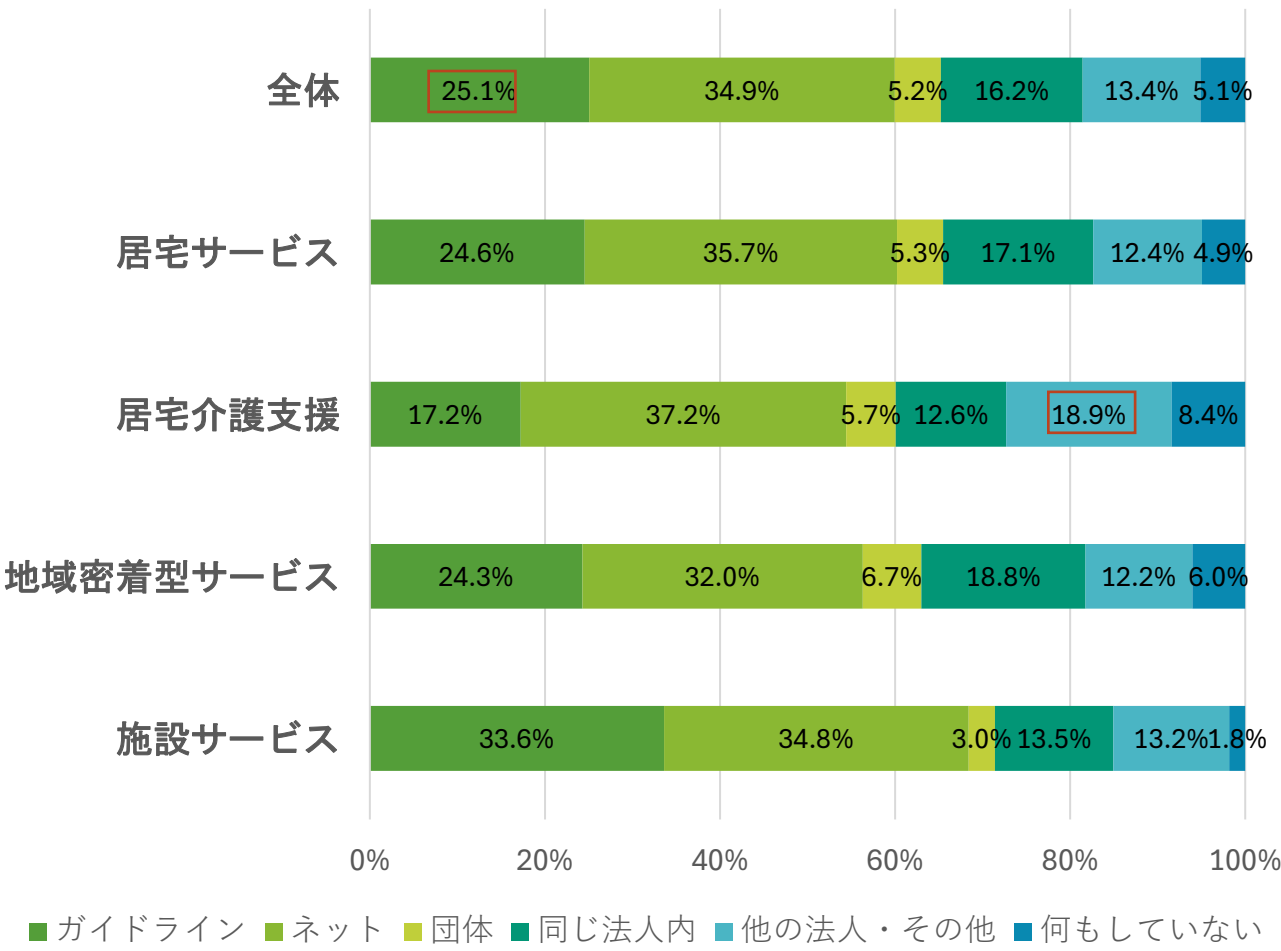
他事業所の業務改善に関する好事例を聞いてみたいですか。 (複数選択可)



	事例発表会等があれは積極的に参加してみたい。	ほしい。メール等で周知してほしい。	好事例をまとめてみたい。	実際に事業所に訪問して取組を見学してみたい。	その他	特に希望はない。
全体	495	1,431	357	37	343	
相談してみたい	40	52	32	1	9	
相談してみたい	269	652	213	15	45	
相談してみたい	83	277	57	7	21	
相談したいことはない	103	450	55	14	268	

- 「好事例をまとめてメール等で周知してほしい」という回答が全体で5割程度と最も多かった。
- 悩み事を相談してみたいという事業所は、事例発表会や見学の希望が比較的多かった。

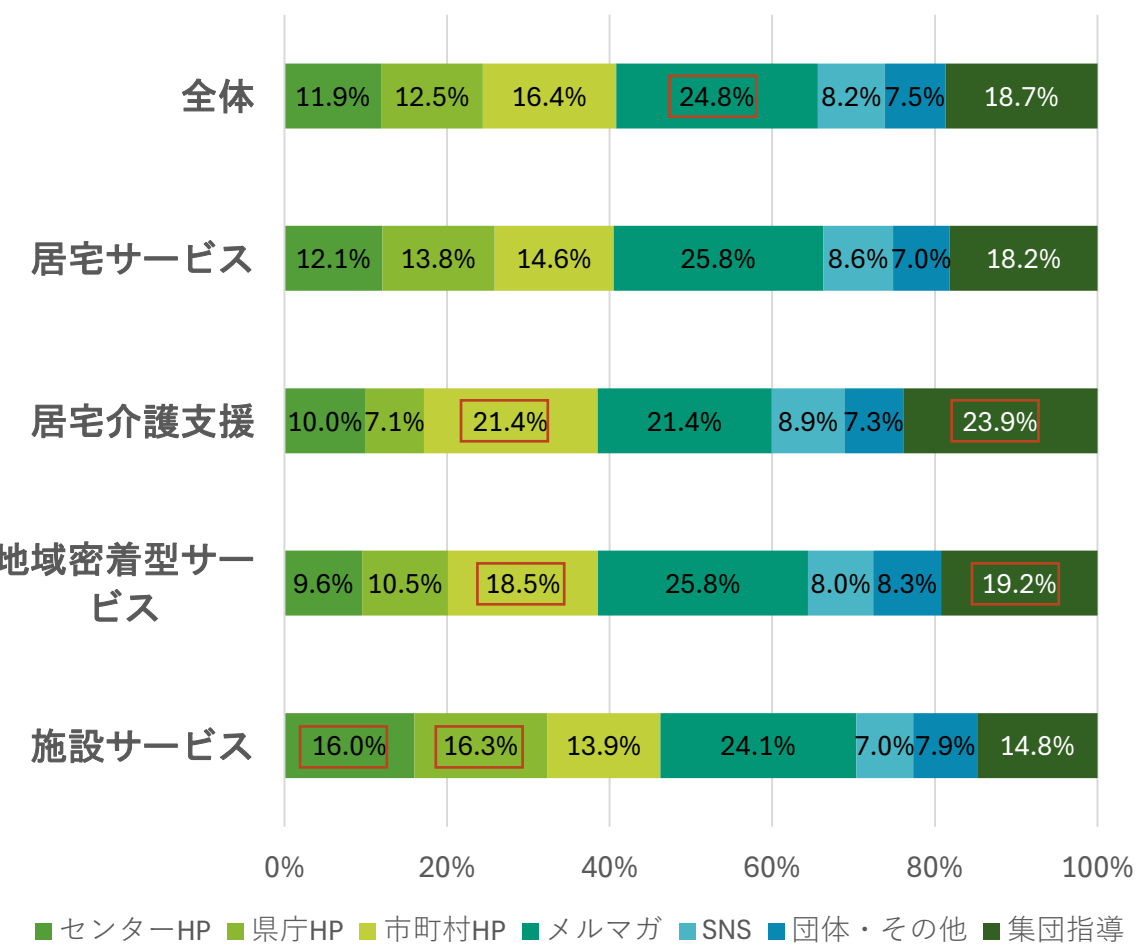
業務改善について情報収集する際に、貴事業所はどうされましたか。（複数選択可）



	生産性向上ガイドライン等を読んだ。	インターネットの記事等を読んだ。	所属している団体に聞いた。	同じ法人の事業所に聞いたり見学したりした。	他の法人の事業所に聞いたり見学・その他	何もしていない
全体	841	1,171	176	544	451	172
居宅サービス	373	542	80	260	189	75
居宅介護支援	82	177	27	60	90	40
地域密着型サービス	185	244	51	143	93	46
施設サービス	201	208	18	81	79	11

- 生産性向上ガイドライン等を読んだ事業所は全体で25%程度であり2番目に多かった。
- 居宅介護支援事業所は他の法人の事業所に聞いたりした割合が比較的多かった。

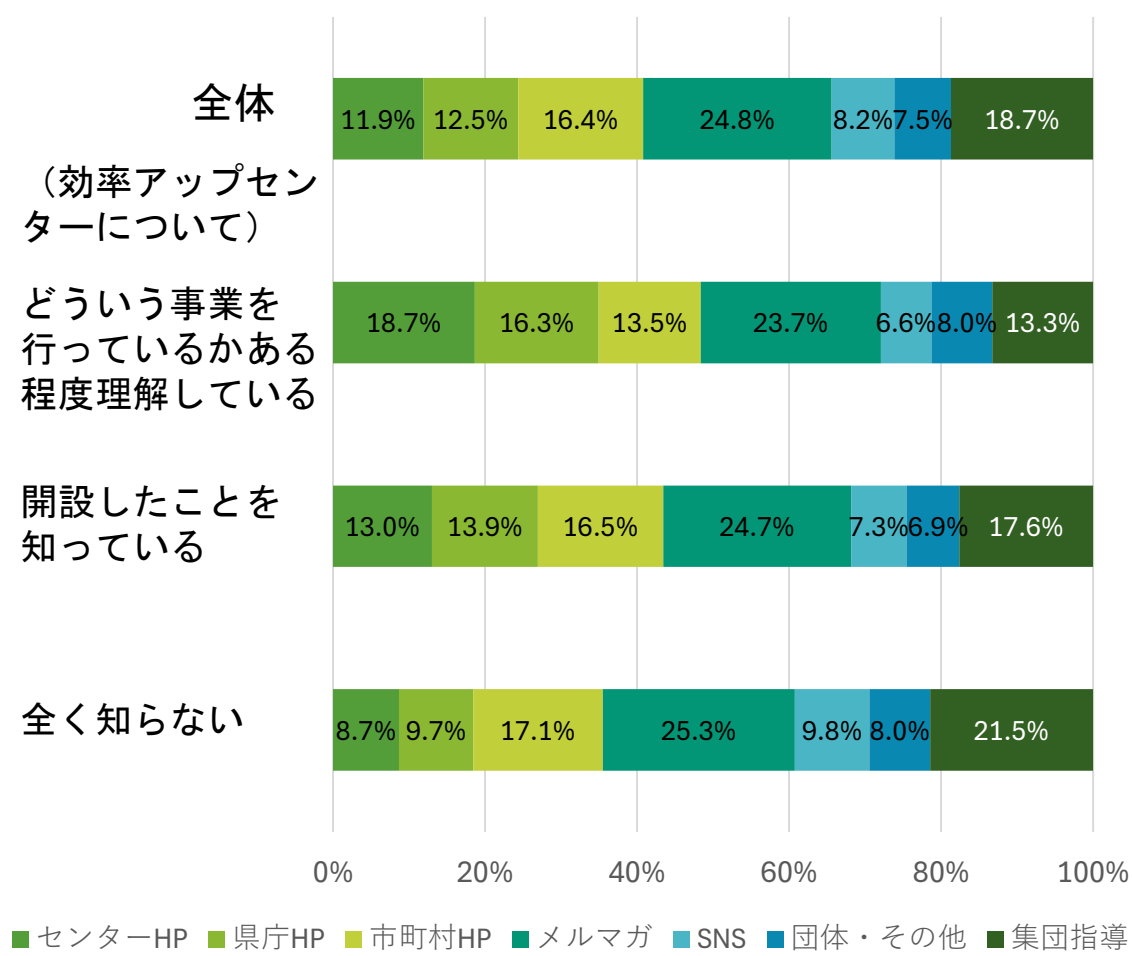
業務改善や行政の支援の情報について、どのようにすれば貴事業所に届きやすいですか。（複数選択可）



	こと	効率アップセンターのHPに分かりやすい情報が載っていること	県庁のHPに分かりやすい情報が載っていること	市町村のHPに分かりやすい情報が載っていること	メルマガジンのような形で定期的に情報が届くこと	SNSで定期的な情報発信があること	所属している団体から情報が届くこと・その他	集団指導の際に情報提供があること
全体		562	591	775	1,173	389	353	883
居宅サービス		256	293	311	548	182	148	386
居宅介護支援		73	52	156	156	65	53	174
地域密着型サービス		99	109	191	267	83	86	199
施設サービス		134	137	117	202	59	66	124

- 全体では、「メルマガが定期的に届く」、「集団指導で情報提供」、「市町村HP」の順に回答が多かった。
- 種別によっては、「集団指導」、「県・市・効率アップセンターHP」などの回答も比較的多かった。

業務改善や行政の支援の情報について、どのようにすれば貴事業所に届きやすいですか。（複数選択可）※認知度ごと



	この情報載っていること	効率アップセンターのHPに分かりやすい情報が載っていること	県庁のHPに分かりやすい情報が載っていること	市町村のHPに分かりやすい情報が載っていること	メルマガジンのような形で定期的に情報が届くこと	SNSで定期的な情報発信があること	所属している団体から情報が届くこと・その他	集団指導の際に情報提供があること
全体	562	591	775	1,173	389	353	883	
ある程度事業を理解している	93	81	67	118	33	40	66	
開設したことを知っている	305	326	386	578	171	162	412	
全く知らない	164	184	322	477	185	151	405	

- 効率アップセンターの認知度が高いほど、「センターHP」の回答が増加し、「集団指導」は減少した。
- 「メルマガ」の回答の回答は認知度に関係なく、いずれの場合でも最も多かった。



全体	320	308	516	275	293	138	283
居宅サービス	173	134	217	114	146	60	149
居宅介護支援	40	52	112	57	39	25	9
地域密着型サービス	56	84	87	72	70	23	79
施設サービス	51	38	100	32	38	30	46

- 「周りの事業所が導入していないため、まだ利用していない」という回答をした事業所が最も多かった。
- 「利用している」と回答した事業所は全体で 15%、していない事業所は 85%であった。 14

アンケート結果を踏まえた課題等

- 業務改善の取組を行っている事業所は増加している傾向がみられた。
- 効率アップセンターの認知度はまだ不足しており、より一層の活用が図られるよう努める必要がある。
- 介護ロボットやICT機器の導入に対する事業所の関心は高いが、施設サービス以外の種別の事業所では、何を導入すれば分からないというところも多かった。導入検討の一助となる情報の発信や相談支援に努める必要がある。
- 業務改善について相談したいという事業所はまだ十分多くはなかった。具体的な相談例を提示するなど、事業所の関心が高まるよう努める必要がある。
- 職員間の適切な役割分担について一定の関心があることが確認できた。介護助手導入のためのセミナーなどの取組を進める必要がある。
- 業務改善支援や好事例等の発信について、メールや市町村HP等による情報提供を希望する事業所が多かった。